

中国四国教育学会

第24回大会プログラム

昭和47年11月1日(水)・2日(木)

会場：鳥取大学

参加者への御案内

1. 交通案内

- 山陰本線湖山駅より：徒歩約20分。
- 山陰本線鳥取駅より：バス「湖山・鳥大行」終点下車。約30分。
なお、詳細については、別紙の「交通案内」を参照してください。

2. 受付

- 第一日(11月1日) 8:00 第二日(11月2日) 8:30
- 受付場所 教養部玄関
- 参加章 受付でお渡しするリボンは会期中かならずおつけ下さい。
- 諸経費 大会参加費 200円, 学会費 700円, 紀要掲載費(原稿用紙代を含む) 6,000円, 臨時会員 500円。
- 懇親会費 1,800円(院生は1,500円) 会場：白兔荘。

3. 発表要領

- 研究発表 発表時間 15分, 質疑 5分。
但し、共同研究で二人以上発表する場合は、発表時間30分, 質疑10分。

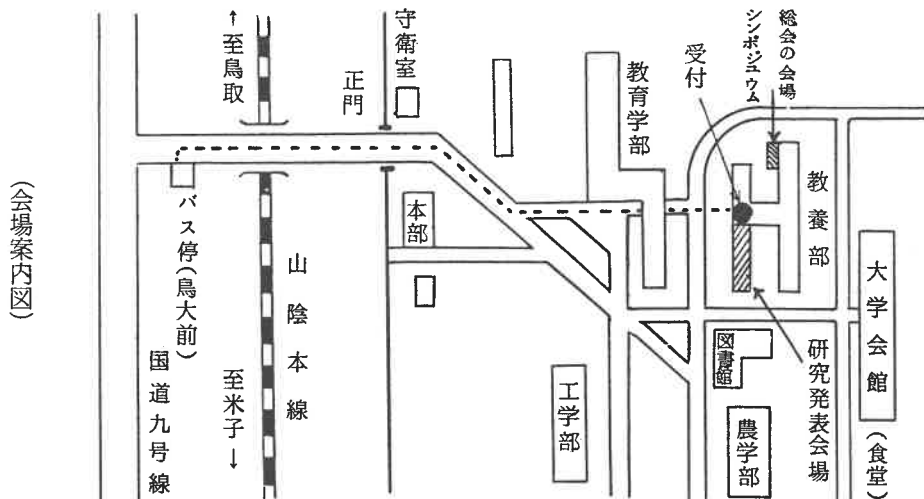
4. 原稿

- 学会紀要に掲載する原稿は、未発表のもので、鳥取大会で発表したものに限りません。

5. その他

- このプログラムは大会当日かならずご持参下さい。
- 昼食は第一日、第二日ともに、大学会館の食堂、または近くの飲食店をご利用ください。
- 大会準備委員会の所在地：鳥取市湖山町1-1 鳥取大学教育学部教育学研究室

郵便番号 680 電話・鳥取 (0857) 28-0321 (代)



○宿舎：鳥取市末広温泉町556 白兔荘

郵便番号 680 電話・鳥取 (0857) 23-1021 (代)

大会日程

11月1日(水)	11月2日(木)
8:00 受付	8:30 受付
9:00 研究発表	9:00 研究発表
第一会場 教育原理部会 (3階302教室)	第一会場 教科教育部会Ⅰ (3階302教室)
第二会場 教育史部会 (3階303教室)	第二会場 教科教育部会Ⅱ (3階303教室)
第三会場 教育方法部会 (3階304教室)	第三会場 教科教育部会Ⅲ (3階304教室)
第四会場 教育社会学・ 幼児教育部会 (2階202教室)	第四会場 教科教育部会Ⅳ (2階202教室)
第五会場 教育行政部会Ⅰ (2階203教室)	
第六会場 教育行政部会Ⅱ (2階204教室)	
課題研究 (10:00~12:00)	
「教師教育カリキュラムのヴィジョン」 (2階201教室)	
12:00	
{ (理事会) (新館小会議室) 459教室	
13:30	
14:00	
{ シンポジウム 「僻地における学級集団の問題」 (新館352教室)	
15:50	
16:00	
{ 総会 (新館352教室)	
17:30	
18:00	
{ 懇親会 (白兔荘)	
20:00	

第一日午前

教育原理部会 (3階302教室)

司会者 是 常 正 美 (広島大学)

村 上 義 幸 (鳥取大学)

- | | | | |
|-----------|---------------------------------|-----------|---------|
| (1) 9:00 | シュプランガーの宗教思想 | 広 大 大 学 院 | 秋 本 泰 博 |
| (2) 9:20 | ルソー研究の一視点 | 広 大 大 学 院 | 浜 孝 明 |
| (3) 9:40 | 「エミール」の基礎研究
—— その根底を流れるもの —— | 広 大 大 学 院 | 伴 野 昌 弘 |
| (4) 10:00 | G. ミッシュのディルタイ理解 | 広 大 大 学 院 | 北 川 明 |
| (5) 10:20 | 教育目標への一考察
—— H. ロートの提言 —— | 広 大 大 学 院 | 実 松 宣 夫 |

休 憩 (10分間)

- | | | | |
|-----------|---------------------------------------|-----------|---------|
| (6) 10:50 | 部落問題と教育に関する史的考察 | 広島県教育研究所 | 天 野 卓 郎 |
| (7) 11:10 | 教育学の学的性格についての一考察 | 広 大 大 学 院 | 田 代 尚 弘 |
| (8) 11:30 | 教育学の方法論に関する一考察 | 広 島 大 学 | 森 川 直 |
| (9) 11:50 | 児童観の展開
—— ロック, ルソー, コンドルセを中心として —— | 広 大 研 究 生 | 宮 本 光 雄 |

教育史部会 (3階303教室)

司会者 胡 豊 四 (山口大学)

松 本 昭 (鳥取大学)

- | | | | |
|-----------|---|-----------|-----------|
| (1) 9:00 | 勝鬘經の教育的意義 | 広 大 大 学 院 | 山 本 五 十 三 |
| (2) 9:20 | 徳富蘇峰の新青年教育論 (Ⅱ) | 広 大 大 学 院 | 生 馬 寛 信 |
| (3) 9:40 | 日独教育交渉史研究 (Ⅱ)
—— 明治初年におけるドイツ語教育と教育学 —— | 広 島 大 学 | 寄 田 啓 夫 |
| (4) 10:00 | 七・五・三の教育的考察 | 岡 山 大 学 | 秋 山 和 夫 |
| (5) 10:20 | 咸宜園の教育
—— その開かれた性格の基底について —— | 九 州 大 学 | 井 上 義 巳 |

休 憩 (10分間)

- | | | | |
|------------|--|-----------|-----------|
| (6) 10:50 | ドイツ宗教改革と大学 | 広 大 大 学 院 | 浅 野 俊 道 |
| (7) 11:10 | 近代ドイツ大学における学部・講座編成の歴史 (Ⅱ)
—— チュービンゲン大学の国家学部の設置 —— | 広 大 大 学 院 | 別 府 昭 郎 |
| (8) 11:30 | 中世スペイン大学史研究 (Ⅱ) | 広 大 大 学 院 | 川 口 明 憲 |
| (9) 11:50 | アメリカ精神薄弱児教育史研究 (Ⅱ) | 広 大 大 学 院 | 二 文 字 理 明 |
| (10) 12:10 | トマス・ファーミンの救貧論と教育 | 広 島 大 学 | 山 根 祥 雄 |

第一日 午前

教育方法部会 (3階304教室)

司会者 宇川 勝美 (香川大学)
佐藤 正夫 (広島大学)

- | | | | |
|-----------|---------------------------------------|-------|-------|
| (1) 9:00 | 学習の動機づけについて
—— G. Rosenfeld の場合 —— | 広大大学院 | 高田 清 |
| (2) 9:20 | 児童の発達と学習について | 広大大学院 | 山下 政俊 |
| (3) 9:40 | ヘルバルト学派における管理・訓練・教授概念の検討 | 広大大学院 | 諸岡 康哉 |
| (4) 10:00 | アメリカのカリキュラム改造についての一考察 | 広大研究生 | 武田 紘一 |
| (5) 10:20 | 生徒集団の発展の原動力としての矛盾について | 広大大学院 | 井田 薫 |

休 憩 (10分間)

- | | | | |
|-----------|---------------------------|------|-------|
| (6) 10:50 | 学習集団の訓育的機能に関する考察 | 広島大学 | 岩垣 撰 |
| (7) 11:10 | イギリスの大家教育における教授法および評価の問題 | 九州大学 | 河村 正彦 |
| (8) 11:30 | 厳格型指導法への親の期待と児童の神経質傾向について | 鳥取大学 | 落合 潮 |

教育社会学・幼児教育部会 (2階202教室)

司会者 野津 良夫 (鳥根大学)
大石 純悟 (鳥取大学)

- | | | | |
|-----------|--|-------|--------|
| (1) 9:00 | ピア・グループの性格と機能
—— その教育的意義 —— | 広大大学院 | 田中 亭胤 |
| (2) 9:20 | マックス・ウェーバーにおける指導者論 (Ⅲ)
—— キルへの概念を中心として —— | 広大大学院 | 西根 和雄 |
| (3) 9:40 | —— レジャーの社会学的研究 (Ⅲ) —— | 広大大学院 | 相原 次男 |
| (4) 10:00 | 科学の社会学
—— 科学の基礎理論を中心として —— | 広大大学院 | 山野井 敦徳 |
| (5) 10:20 | リーダーシップの日本的性格について | 広島大学 | 住岡 英毅 |

休 憩 (10分間)

- | | | | |
|-----------|--------------------------------------|------|-------|
| (6) 10:50 | 学校教育の制度的性格について
—— 「国民の教育権」説の検討 —— | 広島大学 | 片岡 徳雄 |
| (7) 11:10 | 幼児教育者養成に関する一考察 | 美作短大 | 岡本 和子 |
| (8) 11:30 | 幼児教育における「自発性」の概念について | 順正短大 | 三原 征次 |
| (9) 11:50 | フランスの幼児教育の現状と課題 | 仏教大学 | 宮脇 陽三 |

第一日 午前

教育行政部会 I (2階203教室)

司会者 村上英雄(山口大学)
西田美喜雄(鳥取大学)

- | | | | |
|-----------|------------------------------|----------|------|
| (1) 9:00 | アメリカ教育行政制度史研究 (I) | 広大大学院 | 橋口泰宣 |
| (2) 9:20 | 米国教師教育制度の検討 | 広大大学院 | 佐竹勝利 |
| (3) 9:40 | 米国公教育形成の要因とその性格 (IV) | 鳥取女子短期大学 | 中嶋邦彦 |
| (4) 10:00 | ハイ・スクールにおける職業教育の導入とその背景 (II) | 広島県教育研究所 | 田代直人 |
| (5) 10:20 | アメリカにおける大学入試 | 熊本女子大学 | 山田達雄 |

休憩 (10分間)

- | | | | |
|------------|--------------------|-------|------|
| (6) 10:50 | 英国地方教育行政制度史研究 | 広大大学院 | 藤田弘之 |
| (7) 11:10 | イギリス中等教育政策史研究 (II) | 広大研究生 | 森川泉 |
| (8) 11:30 | マレーシアの教育政策 | 広大大学院 | 石井均 |
| (9) 11:50 | 国際人権規約の教育条項に関する一考察 | 広大大学院 | 上原崇 |
| (10) 12:10 | 戦後フランスにおける教育改革 | 広大大学院 | 田崎徳友 |

—— アンドレ・マリ文相案 (1953年) を中心として ——

教育行政部会 II (2階204教室)

司会者 中島康輔(岡山大学)
石堂豊(広島大学)

- | | | | |
|-----------------|---------------------------------|-------|------|
| (1) 9:00 | シュタイン行政学とその教育行政理論に関する序章的研究 (IV) | 広大大学院 | 国祐道広 |
| —— 基本陶冶論 (2) —— | | | |
| (2) 9:20 | 教員モラルに関する一考察 | 広大大学院 | 岡東寿隆 |
| (3) 9:40 | 学校管理権と教師の教育上の自由 | 広大大学院 | 結城忠 |
| (4) 10:00 | 戦前における学校経営論の研究 (IV) | 広島大学 | 畑克明 |
| (5) 10:20 | アメリカ合衆国に於ける大学拡張の研究 | 広大大学院 | 小池源吾 |

休憩 (10分間)

- | | | | |
|---------------------------|------------------------------------|-------|-------|
| (6) 10:50 | 西独における青少年教育に関する研究 | 広大大学院 | 土井利樹 |
| —— 連邦青少年計画 (1) その成立と性格 —— | | | |
| (7) 11:10 | 英国継続教育の研究 (III) | 広大大学院 | 富島昭圓 |
| サンドウィッチ・コースの分析 (その1) | | | |
| —— 教育的意義と目的について —— | | | |
| (8) 11:30 | 19世紀デンマーク社会教育 (folkeoplysning) の発展 | 広島大学 | 佐々木正治 |
| —— 1814年法を中心として —— | | | |

第一日午前

課題研究 (2階201教室)

10:00

{ 教師教育カリキュラムのヴィジョン

12:00

司会者	野地潤家	(広島大学)
発表者	長谷川孝士	(愛媛大学)
	金田道和	(愛媛大学)
	山中寿夫	(鳥取大学)
	石田忠男	(山口大学)
	恩藤芳典	(鳥取大学)

第一日午後

シンポジウム (新館352教室)

14:00

{ 僻地における学級集団の問題

15:50

司会者	近藤正樹	(島根大学)
	大石純悟	(鳥取大学)
提案者	日比祐	(島根大学)
	吉本均	(広島大学)
	後藤誠也	(鳥取大学)

総会 (新館352教室)

16:00

{

17:30

会長あいさつ

議 事

- (1) 会務報告
- (2) 来年度予算審議
- (3) 学会運営・会則改正について
- (4) 来年度会場について
- (5) その他

第二日 午前

教科教育部会 I (3階302教室)

長谷川 孝 士 (愛媛大学)

司会者

野 地 潤 家 (広島大学)

- | | | | |
|------------|---|---------|-------|
| (1) 9:00 | 言語治療教育における親の役割 | 広島大学 | 真砂茂美 |
| (2) 9:20 | ドイツ民主共和国の国語教育 (2) | 広島大学 | 大槻和夫 |
| (3) 9:40 | 国語教育における地域性の問題 (2) | 広大大学院 | 中湧正堯 |
| (4) 10:00 | 鳥取県の生活綴り方運動
—— 西部地区の運動を中心に —— | 鳥取大学 | 北岡清道 |
| (5) 10:20 | 文学教育の原理的研究
—— 〈児言研〉方式のばあい —— | 広大大学院 | 足立悦男 |
| 休 憩 (10分間) | | | |
| (6) 10:50 | 国語科学習指導における目標設定についての一考察
—— 「夕鶴」のばあい —— | 赤穂高校 | 菅原 稔 |
| (7) 11:10 | 古典学習指導法試論
—— 源氏物語の文体と語法を中心に —— | 梅光女学院大学 | 武原 弘 |
| (8) 11:30 | 古典学習における教材反応と鑑賞の深化・拡充 | 廣大附中 | 阿部真人 |
| (9) 11:50 | 金原省吾の文章表現論の考察 | 大阪教育大学 | 小田迪夫 |
| (10) 12:10 | 解釈文法の基礎研究
—— 「古今和歌集」のばあい —— | 廣大附高 | 広瀬節夫 |
| (11) 12:30 | 鈴木三重吉の「描写論」批判 | 広大大学院 | 木下紀美子 |
| (12) 12:50 | 1920年代の読み方教育 | 香大附中 | 大田勝司 |
| (13) 13:10 | 芦田恵之助の綴り方教科書研究 | 広島大学 | 野地潤家 |
| (14) 13:30 | 柳田国男の国語教育論 (10) | 廣大附高 | 小山清 |
| (15) 13:50 | 「サクラ読本」の研究 (Ⅲ) | 廣大附高 | 白石寿文 |

第二日 午前

教科教育部会Ⅱ (3階303教室)

- | | | | |
|------------|--------------------------------------|-------------|-------|
| | 司会者 | 垣田直巳 (広島大学) | |
| | | 大塚虎男 (鳥取大学) | |
| (1) 9:00 | 外国語教育における個別化 | 広大大学院 | 吉岡省一 |
| (2) 9:20 | Pedagogical Grammar に関する一考察 | 広大大学院 | 山田雄一郎 |
| (3) 9:40 | 英語教育の目的論
—— 言語と認識の立場から —— | 呉工高専 | 西田正 |
| (4) 10:00 | Communication Practice | 広大大学院 | 岡秀夫 |
| (5) 10:20 | 言語分布の型と外国語教育 | 広大大学院 | 沖原勝昭 |
| 休 憩 (10分間) | | | |
| (6) 10:50 | 英語教科書の語いの意味の頻度調査研究 | 創価大学 | 左々正治 |
| (7) 11:10 | 聴解力テストの比較考察 | 国際経済大学 | 大里文人 |
| (8) 11:30 | アメリカの外国語教育における Individualization の特質 | 福岡教育大学 | 吉田一衛 |
| (9) 11:50 | 英語進行形の本質とその指導 (1) | 近畿大学 | 林田安義 |
| (10) 12:10 | TESL と TEFL | 広島大学 | 松村幹男 |

教科教育部会Ⅲ (3階304教室)

- | | | | |
|------------|--|--------------------|-------|
| | 司会者 | 上野実義 (広島大学) | |
| | | 細川哲 (鳥取大学) | |
| (1) 9:00 | 西ドイツの地理教育 | 広大大学院 | 高山芳治 |
| (2) 9:20 | 郷土教育論における社会認識教育
—— 郷土教育連盟のばあい —— | 広大大学院 | 河南一 |
| (3) 9:40 | 社会科における意味学習について
—— 人間中心カリキュラムへの一考察 —— | 広大大学院 | 今谷順重 |
| (4) 10:00 | 西ドイツ政治教育研究 | 広大大学院 | 谷本美彦 |
| (5) 10:20 | 社会科における「構造」について | 広島大学 | 森分孝治 |
| 休 憩 (10分間) | | | |
| (6) 10:50 | 高等学校家庭科教育における「家庭一般」成立過程についての考察 | 大分県立佐伯鶴城
高校宇目分校 | 菅智恵子 |
| (7) 11:10 | 高等学校家庭科「家庭一般」の被服製作について | 福山女子短大 | 安原由紀子 |
| (8) 11:30 | 家庭科の教科論について | 鳥取大学 | 田結庄順子 |
| (9) 11:50 | ペスタロッチーにおける貧民救済と体育 | 広大大学院 | 落合久子 |
| (10) 12:10 | 児童生徒の発育発達に関する体育学的研究 | 広大大学院 | 長崎幸雄 |
| (11) 12:30 | 幼稚園における「設定保育」の分析的研究
—— 「模倣表現」の指導を中心として —— | 福山女子短大 | 坂本和丈 |

第二日 午前

教科教育部会Ⅳ (2階202教室)

司会者 古賀昇一 (広島大学)
内川英雄 (鳥取大学)

- | | | | |
|------------|---|-----------|-----------|
| (1) 9:00 | 理科教育における教科書の問題
—— アメリカを中心として —— | 広 大 大 学 院 | 三 河 宏 |
| (2) 9:20 | 西ドイツの基礎学校における自然科学教育 (I)
—— 改革の論拠 (1) —— | 島 根 大 学 | 川 原 寄 人 |
| (3) 9:40 | 理科番組における映像認識の解析 (II)
—— とくにGSRについて —— | 広 大 大 学 院 | 松 本 勝 信 |
| (4) 10:00 | 高校における化学教育の問題点
—— 化学平衡・速度論・化学結合
などの概念の学習を中心として —— | 広 島 大 学 | 竹 村 安 弘 |
| (5) 10:20 | 英国におけるゼネラルサイエンス
—— 英国理科教育史上における位置づけ —— | 広 島 大 学 | 寺 川 智 祐 |
| 休 憩 (10分間) | | | |
| (6) 10:50 | 数学教育における実験的研究について | 広 大 大 学 院 | 植 村 哲 郎 |
| (7) 11:10 | 数学教育における公理的方法の基礎的研究 (I) | 広 大 大 学 院 | 長 谷 川 考 志 |
| (8) 11:30 | フランス数学教育の伝統 | 広 島 大 学 | 古 賀 昇 一 |